

日本放送協会 (NHK) 様とスーパーハイビジョン (8K) 番組制作、
「22.2 マルチチャンネル音響」音声収録・編集向け
デジタル音声卓 (ミキサー) 「NT900」を共同開発

株式会社タムラ製作所 (本社: 東京都練馬区、代表取締役社長: 田村直樹) は日本放送協会 (NHK) 様とデジタル音声卓 (ミキサー) 「NT900」を共同開発しました。

デジタル音声調整卓「NT900」は、音質、機能、デザイン、操作性の全てにこだわったデジタル音声卓 (ミキサー) 「NT シリーズ」の機能を受け継ぎつつ、スーパーハイビジョン番組制作、「22.2 マルチチャンネル音響」の音声収録、編集に適した製品です。

2016 年の試験放送、2018 年の 8K 実用放送、2020 年の本格普及が計画されているスーパーハイビジョン 8K 番組の収録、中継で需要が高まっていくと考えております。

【目的・背景・概要】

タムラ製作所は、放送局向けデジタル音声卓 (ミキサー) の国内納入実績でトップシェアを誇っております。NT シリーズが誇る、複数の音声に対して個別・同時に操作できるインターフェースとタムラオリジナル「TR-NET」により、一対 (送受信) の光ケーブルで音声 (512ch)、同期信号、制御の通信が可能 な点と、電源の故障や障害発生時に、瞬時に予備系への運用切替えができ、予測不能な生放送中の障害に対しても安心できるという点が評価され、今回の共同開発に至りました。

今回、「22.2 マルチチャンネル音響」用スピーカーが配置された副調整室、あるいは音声中継車で使用するため、試聴の妨げにならないように全高を従来機より低く致しました。また、スーパーハイビジョン (8K) に対応するために、トラックボールを使用した 3 次元パニング (音像を定位させる機能)、「22.2 マルチチャンネル音響」用マスター出力バス、「22.2 マルチチャンネル音響」用モニター機能を追加致しました。

【NT900 画像】

